

おくすり手帳：正しい使い方

岩美病院 薬剤部 薬剤師長 高岡 清



問い合わせ先

岩美病院 事務局
☎73-1421

過去にはこんなことがありました。ある方に糖尿病の薬が処方され、調剤をしました。薬をお渡しする時に「おくすり手帳」を提示されたので中を見ると、他の医

院から同じ種類の糖尿病の薬を処方されているのが分かりました。ご高齢で家族に付き添われての診察。薬のことはよく理解できていなかったのです。こちらの処方中止、飲みすぎを防ぐことが出来ました。もし、「おくすり手帳」を見なかったら、おそらく低血糖状態になっていたでしょう。

左の写真は「おくすり手帳」です。名前のとおり「くすり」のための手帳です。以前、このコーナーで「おくすり手帳」を紹介しました。今回は「おくすり手帳」の正しい使い方を、ご提案します。

① 1冊にまとめましょう。

・複数の医院ごとに使い分けると、薬のチェックが不十分になります。

② 診察には必ず持っていきましよう。

③ 診察の時に医師・歯科医師・薬剤師に見せましよう。

・診察の手助けになり、悪い飲み合わせ

せなどを予防できます。

④ 健康食品などを使っている場合には、それも書いておきましょう。

・薬の効果に影響する健康食品があります。

「おくすり手帳」には多くの種類がありますが、どの手帳でも問題ありません。

写真は岩美病院が採用しているものです。鳥取県東部医師会・歯科医師会・薬剤師会が共同で作成しました。手帳の裏側には『救急時・災害時にも携帯しましょう』と書いてあるとおり、使っている薬がすぐに分かり治療には大変役立ちます。

調剤時に薬局で処方内容が書かれたシールを作り、お預かりした「おくすり手帳」の記録を確認した後、問題がなければシールを貼ってお返しします。

これを機会に「おくすり手帳」をお使いになりませんか。



岩美病院運営協議会を開催しました

平成24年度第1回となる、岩美病院運営協議会を6月29日開催しました。これは、町民の皆さまから選出された委員の方々に岩美病院の運営に関するご意見を伺うため、毎年開催しているものです。今回は平成23年度決算をはじめ、新たな医療機器導入や休止中の認知症病棟の今後の活用など、平成24年度の運営方針について委員の皆様へ報告し、協議しました。

この協議会でいただいた貴重なご意見は、今後の病院運営に活かしていきます。

なお、この協議会の会議録は岩美病院ホームページに掲載しています。

